

サステナビリティ・マネジメント

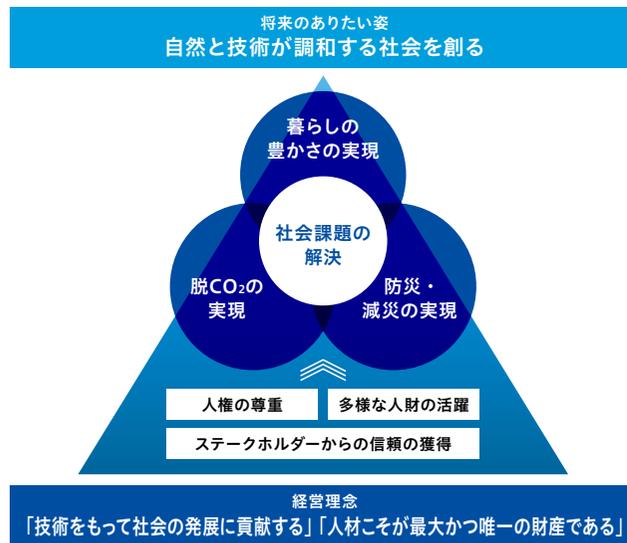
考え方・方針

IHIグループは、持続可能な社会を実現し、企業として持続的に成長するために、ESGを価値観の軸に置いた社会・環境に配慮した誠実な経営「ESG経営」を行っています。

IHIグループのESG経営

IHIグループは、地球環境とそこに暮らす人びとが持続可能であるために、自然の脅威から人びとを守り、安心・安全で豊かに暮らすことができる社会—自然と技術が調和する社会—を創ることを目指します。事業を通じて、さまざまな社会課題に取り組み、社会価値を創出するとともに、企業価値を向上していきます。

●IHIグループのESG経営

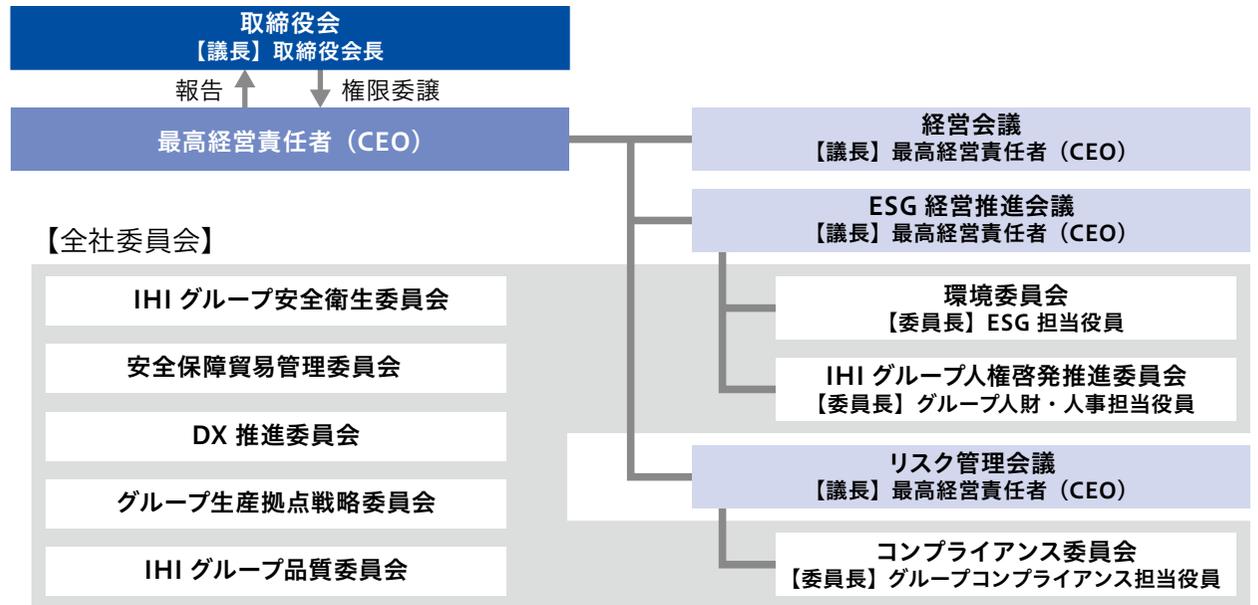


体制

サステナビリティ推進体制

IHIグループは、持続可能な社会を実現するために、環境と社会に対する貢献と責任、それらを実現するためのガバナンスに関して、明確な価値観を示した経営を行う必

●サステナビリティ推進体制図



●ESG経営推進会議

議長	最高経営責任者
事務局	経営企画部
出席者	取締役、執行役員、統括本部長、本社本部長、本社部長
2022年度の開催回数	2回

要があると考えています。この「ESG経営」の基本方針や具体的施策を検討するとともに、実施状況を評価・改善することを目的として、最高経営責任者(CEO)を議長とするESG経営推進会議を設置しています。ESG経営に関する事項については、取締役会に適宜報告し、全社的なマネジメントを実施しています。

サステナビリティ・マネジメント

取り組み

ステークホルダーとの対話

IHIグループは、企業活動を継続する上で影響の大きい、お客さま、お取引先、株主・投資家、行政、地域社会、従業員、NPO・NGOを主要なステークホルダーと捉えています。

その考えのもと、ステークホルダーとの対話をさまざまな方法で実施しています。対話のためのツールとして「統合報告書」や「Sustainability Data Book」を発行しています。2021年度には「IHI ESG STORYBOOK」を発行し、IHIグループが考えるESG経営の詳細について示しました。

なお、重要と考えられる対話内容については経営会議や取締役会に報告し、経営戦略に反映しています。

●国連機関、NPOとの対話実績(2022年度)

国連機関(2023年2月, リモート形式)	
対話テーマ	気候変動への適応と公正な移行
対話の相手	国連開発計画 大司 雄介 氏
IHI参加者	ESG担当役員, 社会基盤・海洋事業領域長
概要	災害に脆弱な国や地域において事業を通じて防災・減災に貢献するには
NPO(2023年3月, リモート形式)	
対話テーマ	鉱物サプライチェーンと公正な移行
対話の相手	NPO法人 アジア太平洋資料センター 田中 滋 氏
IHI参加者	ESG担当役員, 調達企画本部長
概要	今後需要がますます高まるニッケルの採掘現地における人権課題について

●ステークホルダーとの主な対話実績

ステークホルダー	対話の主な目的	2022年度に実施した対話の一例	頻度	参照
お客さま	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会とお客さまの課題解決への貢献 ● 製品安全 	・日ごろの営業活動	適時	P.78 お客さまとの関係強化
		・顧客満足度調査の実施	適時	
		・製品安全情報の提供	随時	
お取引先	<ul style="list-style-type: none"> ● 公平・公正な取引 ● お取引先との相互繁栄 	・「IHIグループ調達先行動指針」の周知	適時	P.80 サプライチェーン・マネジメントの強化
		・CSR調達モニタリング	適時	
株主・投資家	<ul style="list-style-type: none"> ● 適時・適切な情報開示 ● 信頼関係の強化 ● 企業価値の向上 	・株主総会の開催	年1回	web 株主・投資家情報
		・決算説明会, テレフォン・カンファレンスの開催	年4回	
		・個別ミーティングの実施	随時	
		・情報提供サービス	随時	
行政	<ul style="list-style-type: none"> ● 官民連携 	・政策審議会への参加	適時	P.40 イノベーション・マネジメント
		・官民共同開発・プロジェクト参画	適時	
地域社会	<ul style="list-style-type: none"> ● 社会の一員であることの自覚 ● 社会課題の解決への貢献 	<ul style="list-style-type: none"> ・地域社会向けイベントの開催 ・出前授業の実施 	適時	P.82 地域社会との共存共栄
従業員	<ul style="list-style-type: none"> ● 最も重要な経営資源である人財の育成・確保 	・従業員意識調査の実施	年1回	P.62 多様な人財の活躍
		・コンプライアンス・ホットライン	都度	P.27 コンプライアンスの徹底
NPO・NGO	<ul style="list-style-type: none"> ● 事業機会につながる社会課題の深掘 	・経営幹部との対話	適時	—

サステナビリティ・マネジメント

株主・投資家とのコミュニケーションの考え方

IHIグループは、株主・投資家の皆さまへの適時・適切な会社情報の開示が健全な金融商品市場の根幹をなすとの認識のもと、株主・投資家の皆さまと信頼関係の強化を図るため、コミュニケーションの機会を積極的に設けています。

情報開示については、透明性の高い経営の全社的推進を基本理念に、資本市場関係者に対して、経営または業務に関する重要情報を、常に株主・投資家の視点に立ち迅速・正確・継続的・公平に開示しています。そして、経営の方向性と主要な業務について、誠実に説明責任を果たすことを基本方針としています。

適時・適切な情報開示

IHIグループは、各種開示資料の充実を図り、その内容をインターネットで配信するなど、積極的に公平な開示に努めています。

また、国内だけではなく海外投資家の皆さまにもIHIグループの事業活動への理解を深めていただけるよう、積極的なコミュニケーション活動を行っています。

2022年度は、前年度に引き続き新型コロナウイルス感染症の影響を受けましたが、以前実施していた海外各地での面談を再開し、電話・ビデオ会議による対話も併用し、経営層と北米・欧州・アジアの投資家の皆さまとの面談を実施しました。

国際的イニシアチブの支持

気候関連財務情報開示タスクフォース(TCFD)

P.92 気候変動への対策

国連グローバル・コンパクト

IHIグループは、健全なグローバル社会を築くためのイニシアチブである「国連グローバル・コンパクト」に署名し、2022年2月6日付で参加企業として登録されました。

国連グローバル・コンパクトが定める4分野(人権・労働・環境・腐敗防止)に関する10原則は、当社グループの経営理念およびESG経営に合致しています。当社グループは、これら10原則に賛同し、その実現に取り組んでいます。

●株主・投資家との主な対話状況(2022年度)

分類	対話の主なテーマ	参照
全般	<ul style="list-style-type: none"> 今後の事業ポートフォリオ 中長期的な企業価値向上に寄与する事業分野 	P.4 中期経営計画
E	<ul style="list-style-type: none"> 「IHIカーボンニュートラル2050」の実現に向けた取り組み GHG排出量の削減に関する中間目標 気候変動対策におけるIHIグループの強みや独自性 	P.92 気候変動への対策
S	<ul style="list-style-type: none"> 人財育成やキャリアデザインについての課題 	P.62 多様な人財の活躍
	<ul style="list-style-type: none"> サプライチェーン上で想定される人権リスク 	P.49 人権の尊重 P.80 サプライチェーン・マネジメントの強化
G	<ul style="list-style-type: none"> 取締役会の実効性評価であった主な課題および対応策 取締役会におけるダイバーシティ 	P.15 コーポレート・ガバナンスの強化

